

課題【 1 】

課題	「地域課題の抽出結果について」から抜粋			令和2年度の会議で出た対策・アイデア	方向性	地域資源等の関連情報
	項目1	項目2	地域課題			
1	介護	通所サービス	歩いて行ける通いの場、運動教室が少ない	健康づくりリーダーなど地域の人材や理学療法士等社会資源調査、活用を検討。より専門的な通いの場となる。	理学療法士等の派遣などを調査し、協議会にて検討する。	<p>① 通いの場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体の活動の場 (高齢者サロン・認知症予防ゲーム・椅子に座ってできる体操・健康麻雀・回想法など) 自治会や高齢福祉課等から補助金を受け行っているところが多い。 多くは、月1回程度開催。月2回、月4回開催しているところもある。</li> <li>・住民主体の体操クラブ 健康づくりリーダーが講師となって体操・運動指導を行う。会費制で、講師料を支払う。 公共施設で行うクラブは、会場の予約と会場使用料の支援を高齢福祉課がしている。</li> <li>・認知症予防(コグニサイズ(国立長寿医療研究センターが開発したもの))を取り組むクラブ 高齢福祉課が実施したコグニサイズ体験講座の受講者が中心となり取り組む。</li> <li>・ラジオ体操 市内各所で、市民が主体となりラジオ体操を実施している。</li> </ul> <p>② 北名古屋市老人クラブ連合会のクラブ活動 37団体(体操・詩吟・書道・盆栽・華道・大正琴・カローリング・グランドゴルフなど)が活動(①と重複クラブあり)</p> <p>③ 【地域がいきいき 集まろう！通いの場】特設サイト 厚生労働省のホームページにて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りつつ、居宅においても健康を維持するため、そして安心して通いの場の活動を再開するために必要な情報を発信している。</p> <p>④ 【オンライン通いの場】アプリケーション 国立長寿医療研究センターから「オンライン通いの場」アプリがリリースされている。 コロナ禍でもオンラインで自己管理しながら、運動や健康づくりに取り組めるアプリです。</p> <p>⑤ 健康づくりリーダーとは あいち健康プラザが健康づくりリーダーバンク登録養成研修会を毎年実施。 市内で、健康づくりや介護予防のボランティアを実施。</p> <p>⑥ 北名古屋リハビリテーション連絡会について 市内で勤務するリハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士)の連絡会。 自立支援型地域ケア会議に参加依頼をしている。</p>